

# 二番町地区のまちづくりについて

## ■第3回番町次世代シンポジウム 議事要旨

開催日時：2026年1月25日(日) 午後3時～午後5時

出席者：68名

ファシリテーター：東京大学 加藤 孝明 教授

ファシリテーター補佐：東京大学大学院生 内藤 克子氏

コメンテーター(専門家)：東京大学 村山 顕人 教授

オブザーバー：日本テレビ放送網(株)

事務局：千代田区 環境まちづくり部 地域まちづくり課

プログラム：1)シンポジウムの開催趣旨

2)プログラムの説明

3)前回の振り返り

4)未来の空間をイメージする

5)エリアマネジメントの基礎知識

6)今後の予定

※シンポジウム当日の配布資料は

[区HP](#)へ掲載しております。

### 【議事要旨】

#### 1 シンポジウムの開催趣旨

区から以下を説明した。

- ・本シンポジウムは二番町地区地区計画の変更手続きに伴う附帯決議に基づき地区の融和を図り、前向きに話し合える場づくりとして実施
- ・令和7年1月に開催された第1回シンポジウムでは番町地域全体の前向きな未来について議論し、同年9月に開催した第2回シンポジウムでは、これから日本テレビが計画していく中で心配事の解消や配慮に向けたリクエストを出す場として議論
- ・これらを踏まえ、今回は「前回の振り返り」、「地区計画の内容について模型を用いた立体的、視覚的な理解」、「エリアマネジメントの基本的な事項の認識共有」を目的として実施

#### 2 プログラムの説明

ファシリテーターから、資料1「第3回番町次世代シンポジウムの開催について」により、本シンポジウムの目的や、3部で構成される本シンポジウムの各概要を説明した。

#### 3 前回の振り返り

まず、事務局より、資料2「第3回番町次世代シンポジウムの開催について」及び資料3「日本テレビ二番町計画における基本計画の検討について」により、第2回シンポジウムのまとめ及びシンポジウム等での意見を踏まえて区から日本テレビに発出した要望書の概要を説明した。その後、ファシリテーターから、第2回シンポジウムのまとめにおける3色の色分け(緑・黄・赤色)に関して、以下の補足説明がなされた。

緑色:心配の必要が低い(解消済み)

黄色:今後の検討の中で解消(日本テレビが計画を具体化していく際に整理されていく事項)

赤色:要検討(新たな場での検討が必要となる事項)

#### 4 未来の空間をイメージする

まず、事務局より、資料4「二番町地区地区計画の概要」により二番町地区地区計画の概要を説明した。その後、参加者を2つのグループに分け、会場中央に配置した模型(1/300スケール)の前で参加者・ファシリテーター・コメンテーターによるフリーディスカッションを行った。

フリーディスカッションでは、大きく以下の観点からの意見が挙げられた。

- ・地区計画において規定されている壁面ラインと建築面積・容積率の関係性
- ・広場の向きと日当たり、および一部ピロティ(上空に建物床が来る)形式となることの確認
- ・交通広場を利用するバスやタクシー、新築ビルの駐車場、キス&ライドの交通動線
- ・周辺も含めた建築物の高さと地区計画高さの最高限度

## 5 エリアマネジメントの基礎知識

まず、事務局より、資料5「エリアマネジメントの説明と事例集」により「千代田区エリアマネジメントのすすめ」を使用しながら、資料6「千代田区エリアマネジメントのすすめ【概要版】」によりエリアマネジメントの基礎的な説明を行ったうえで、住宅地を中心に他地域におけるエリアマネジメントの多様な事例紹介を行った。

その後、コメンテーターから、参加者の地域活動への参画状況を伺ったうえで、エリアマネジメントの意義や、助走期間として現段階から考えていくことの必要性、番町の特성에あった体制・取り組み・財源のあり方を取り入れていく必要性に関して説明がなされた。

## 6 今後の予定

区から、現時点では日本テレビ跡地計画の具体的なスケジュールは未定であるが、日本テレビの基本計画を説明する場として、次回シンポジウムを開催していきたいことを説明した。

以上



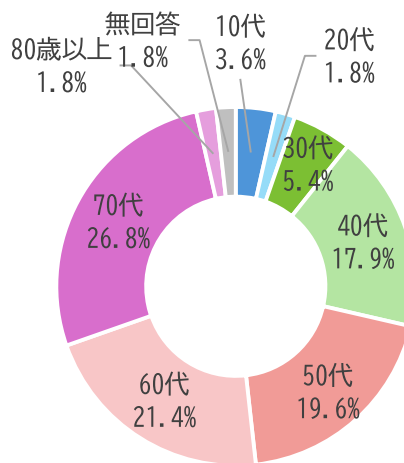
## 第3回 番町次世代シンポジウム アンケート概要

回答者総数は、 56 人である

### ■あなた自身のことについて

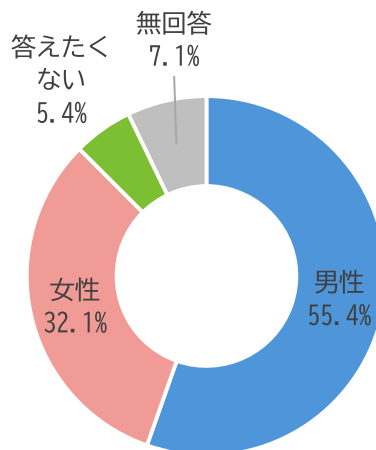
#### 【年代】

	回答数	割合
1 10代	2	3.6%
2 20代	1	1.8%
3 30代	3	5.4%
4 40代	10	17.9%
5 50代	11	19.6%
6 60代	12	21.4%
7 70代	15	26.8%
8 80歳以上	1	1.8%
9 無回答	1	1.8%
計	56	100.0%



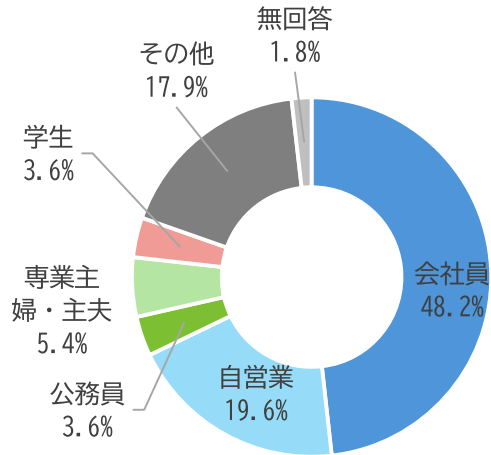
#### 【性別】

	回答数	割合
1 男性	31	55.4%
2 女性	18	32.1%
3 答えたくない	3	5.4%
4 無回答	4	7.1%
計	56	100.0%



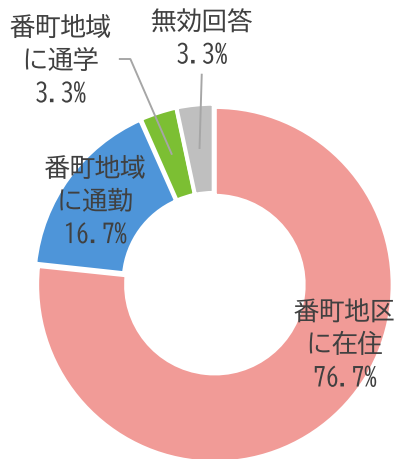
【職業】

	回答数	割合
1 会社員	27	48.2%
2 自営業	11	19.6%
3 公務員	2	3.6%
4 専業主婦・主夫	3	5.4%
5 学生	2	3.6%
6 その他	10	17.9%
7 無回答	1	1.8%
計	56	100.0%



【番町との関わり】 複数回答ありで集計

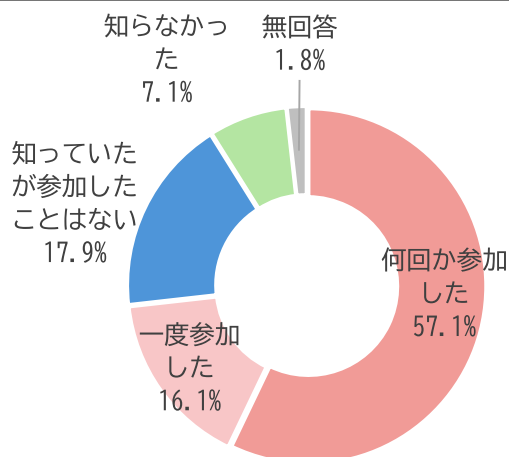
	回答数	割合
1 番町地区に在住	46	76.7%
2 番町地域に通勤	10	16.7%
3 番町地域に通学	2	3.3%
4 無効回答	2	3.3%
計	60	100.0%



■これまでの番町地区の説明会等の参加について

Q1 番町地域でこれまでに開催された説明会やオープンハウス、シンポジウム等に参加したことはありますか。

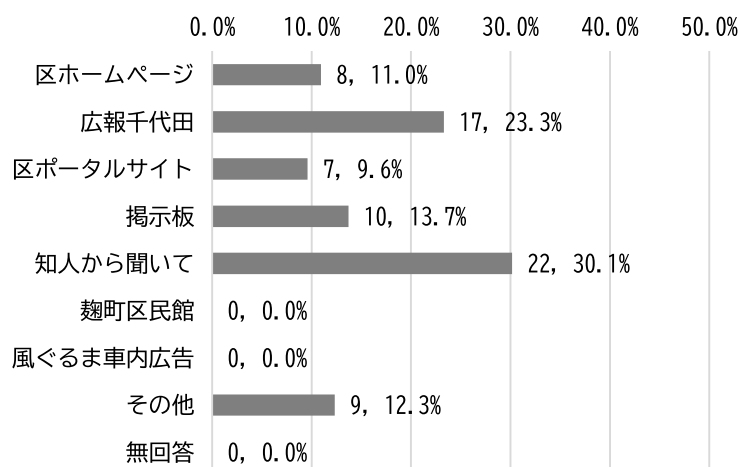
	回答数	割合
1 何回か参加した	32	57.1%
2 一度参加した	9	16.1%
3 知っていたが参加したことはない	10	17.9%
4 知らなかった	4	7.1%
5 無回答	1	1.8%
計	56	100.0%



■本日のシンポジウムについて **複数回答ありで集計**

Q2 本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えてください。

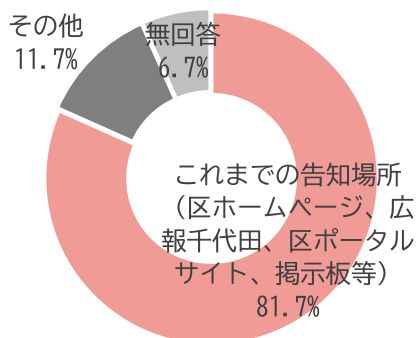
	回答数	割合
1 区ホームページ	8	11.0%
2 広報千代田	17	23.3%
3 区ポータルサイト	7	9.6%
4 掲示板	10	13.7%
5 知人から聞いて	22	30.1%
6 麴町区民館	0	0.0%
7 風ぐるま車内広告	0	0.0%
8 その他	9	12.3%
9 無回答	0	0.0%
回答者数	73	100.0%



■本日のシンポジウムについて複数回答ありで集計

Q3 本日のシンポジウム等の募集情報はどのような場所で告知されると便利だと思いますか。

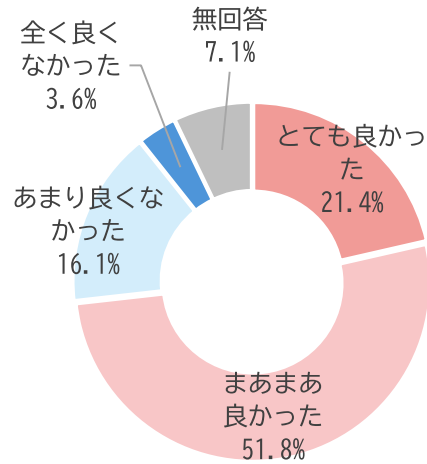
		回答数	割合
1	これまでの告知場所（区ホームページ、広報千代田、区ポータルサイト、掲示板等）	49	81.7%
2	その他	7	11.7%
3	無回答	4	6.7%
	計	60	100.0%



その他（自由意見）
<p>今後望まれる告知としては、以下の方法の提案があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セブンイレブン等の地域店舗でのチラシ配布</li> <li>・ホームページ上のより分かりやすい掲載</li> <li>・住民へのポスティング</li> </ul>

Q4 本日のシンポジウムの満足度をお教えてください。

	回答数	割合
1 とても良かった	12	21.4%
2 まあまあ良かった	29	51.8%
3 あまり良くなかった	9	16.1%
4 全く良くなかった	2	3.6%
5 無回答	4	7.1%
計	56	100.0%

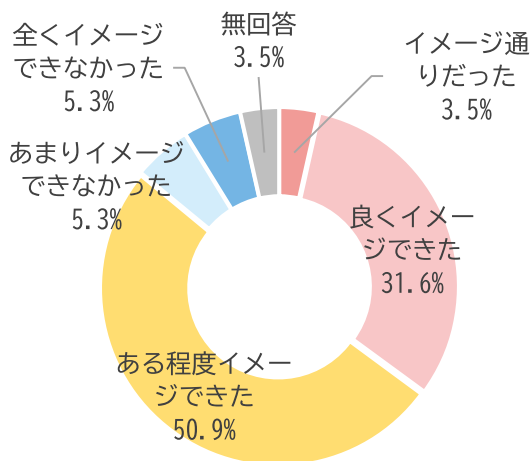


自由記述（概要）

模型の活用や専門家による進行により理解しやすくなった、初参加でも状況把握の機会になったなど、運営面を前向きに受け止める声が見られました。一方で、同じ参加者の発言が長く続いたこと、日テレからの直接回答がなかったこと、当初からの心配事が解消されないまま次の段階に進むように見えることへの懸念の声も見られました。

Q5 未来の空間はイメージできましたか。 **複数回答ありで集計**

	回答数	割合
1 イメージ通りだった	2	3.5%
2 良くイメージできた	18	31.6%
3 ある程度イメージできた	29	50.9%
4 あまりイメージできなかった	3	5.3%
5 全くイメージできなかった	3	5.3%
6 無回答	2	3.5%
計	57	100.0%

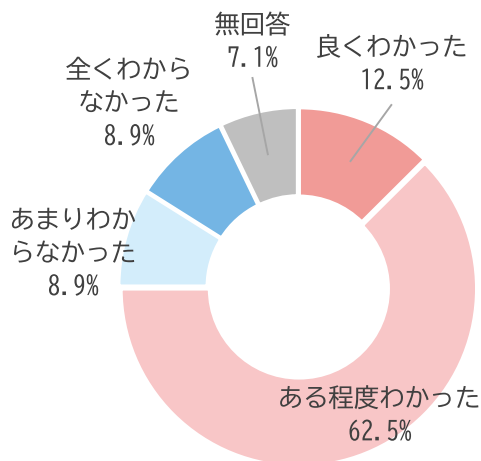


自由記述 (概要)

模型により、建物の高さや広場との位置関係、歩行者目線での見え方など、これまでより具体的にイメージできたという声が見られました。一方で、ビル風・交通量など、生活への影響は模型だけでは十分に把握できないという意見もありました。空間の形は見えやすくなったものの、生活環境への影響は別途の説明や検討が必要であるとの声もありました。

Q6 エリアマネジメントの基本的な事項について理解できましたか。

	回答数	割合
1 良くわかった	7	12.5%
2 ある程度わかった	35	62.5%
3 あまりわからなかった	5	8.9%
4 全くわからなかった	5	8.9%
5 無回答	4	7.1%
計	56	100.0%

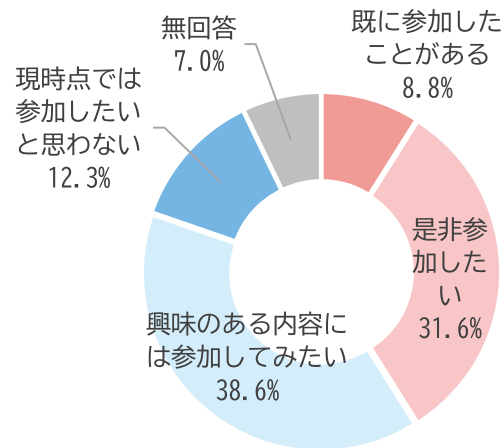


自由記述（概要）

事例紹介を通じて、エリアマネジメントの基本的な考え方や役割への理解が進んだという声が見られました。一方で、番町のような地域での必要性、住民負担やイベント偏重への心配の声も見られました。

Q7 イベントに限らず、地域の価値向上を目標とするエリアマネジメントに参加したいと感じましたか。

	回答数	割合
1 既に参加したことがある	5	8.8%
2 是非参加したい	18	31.6%
3 興味のある内容には参加してみたい	22	38.6%
4 現時点では参加したいと思わない	7	12.3%
5 無回答	4	7.0%
計	56	98.2%

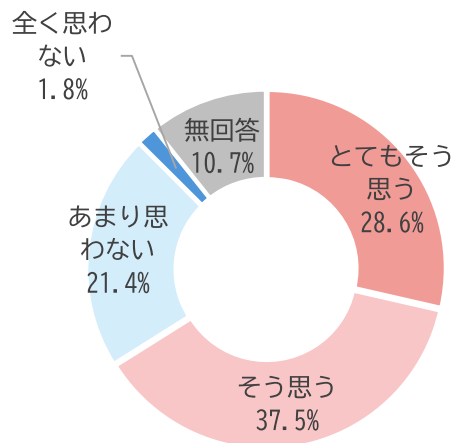


自由記述（概要）

住民や企業が協力して地域を良くしていくために関わりたい、内容次第で参加したい、若い世代や子育て世代も巻き込んだ活動を期待したいといった前向きな声が見られました。一方で、負担の大きさへの懸念、番町では賑わいやイベントを求めている、エリアマネジメント自体が不要ではないかという疑問の声も見られました。

Q8 地域をよりよくしていくため、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地域に必要と感じましたか。

	回答数	割合
1 とてもそう思う	16	28.6%
2 そう思う	21	37.5%
3 あまり思わない	12	21.4%
4 全く思わない	1	1.8%
5 無回答	6	10.7%
計	56	100.0%



#### 自由記述 (概要)

多様な住民が顔を合わせて意見交換する場は必要だという声  
 が一定数見られました。一方で、場を設けるだけでなく、発言  
 の偏りを防ぐこと、若い世代や子育て世代も参加しやすい設  
 計、多様な住民の意向を尊重した進め方を求める声が見られま  
 した。

Q9 Q8で「とてもそう思う」・「そう思う」とお答えした方に伺います。  
意見交換の方法について、ご意見があれば教えてください。

自由記述（概要）

定期開催、オンライン活用、中立的な進行、事前の意見整理、若い世代の参加機会、検証と改善を目的としたレビューの場など、継続的かつ建設的な対話の仕組みを求める提案が見られました。

Q10 今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあれば教えてください。

自由記述（概要）

静かな住宅地・文教地区としての落ち着きや品格を守りたいという声が見られた一方で、駅周辺には一定の活気があってもよい、若い世代が関わりやすい地域にしたい、住民と働く人が安心して過ごせる地域にしたいといった声も見られました。

※本概要の自由記述欄については、参加者から寄せられた多様な意見について、今回のシンポジウムを通じて参加者がどのような点を評価し、どのような点に課題や懸念を感じているかが分かるよう、主な論点ごとに整理したものです。個々の意見の強弱や長短を含む詳細については、自由記述の詳細版をあわせてご参照ください。

※お申込みの際に同意いただいた「番町次世代シンポジウムの進め方に関するルール」に反すると判断した回答や、設問に無関係なご意見については掲載しておりません。